

沖家室大橋 個別補修計画



令和4年度版

架橋箇所



大島郡周防大島町大字沖家室島
(緯度33.85813, 経度132.35873)

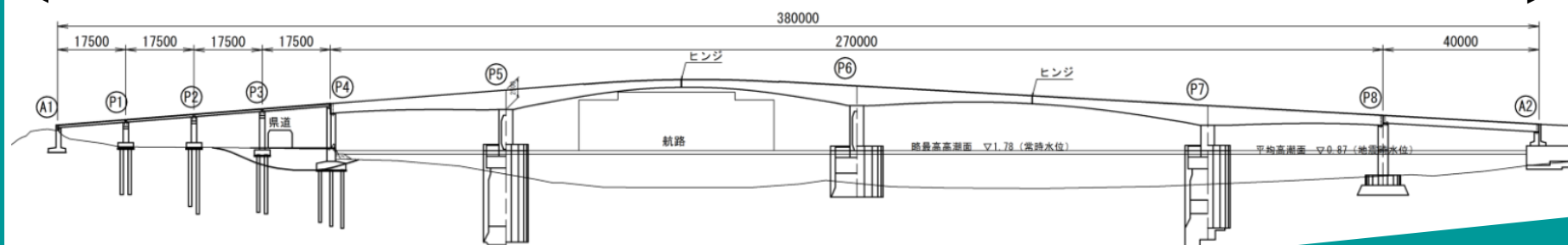
※この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

■ 橋梁諸元

管 理 所 事 務 所	柳井土木建築事務所	橋 種	コンクリート橋
路 線 名	一般県道 白木漁港佐 ^{され} 連線	径 間	9径間
橋 長	380.0m	上 部 工 式 形 式	PC単純プレテン床版 (1~4径間) PC4径間連続有鉸ラーメン箱桁 (5~8径間) PC単純ポステンT桁 (9径間)
幅 員	6.2m (全幅員)	下 部 工 式 形 式	逆T式橋台 (A1, A2) 張出式橋脚 (P1~P3) 壁式橋脚 (P4, P8)、柱式橋脚 (P5~P7)
架 橋 年	1983年 (昭和58年)	基 礎 工 式 形 式	直接基礎 (A1, P8, A2) 鋼管杭 (P1~P4)、ケーソン (P5~P7)
交 差 件	県道白木漁港佐連線、航路		

至 沖家室
←

至 佐^{され}連
→



■計画期間

- ・ 100年

■計画の見直し

- ・ 10年以内

■維持管理方針

- ・ 「予防保全型」維持管理

■部材毎の維持管理方針

P C 上 部 工	予 防 保 全	舗 装	事 後 保 全
下 部 工	予 防 保 全	支 承	予 防 保 全
基礎工 (Con:水上部)	予 防 保 全	落 橋 防 止	予 防 保 全
基礎工 (Con:地中, 水中部)	事 後 保 全	伸 縮 装 置	予 防 保 全
基 礎 工 (鋼)	事 後 保 全	排 水 装 置	事 後 保 全
高 欄	事 後 保 全	道 路 照 明	事 後 保 全

■維持管理上の留意事項

・ PCプレテン中空床版橋

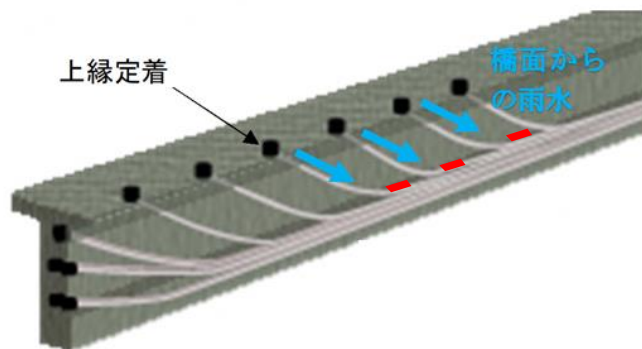
- P2～P3間（第3スパン）
アルカリ骨材反応が確認された
箇所の継続監視



第3スパン損傷写真

・ PC鋼材の上縁定着

- 定着部からの雨水浸入に起因するPC鋼材の腐食



橋面からの雨水の浸入によりPCT桁に配置されたPC鋼材が腐食する。PC鋼材が腐食した場合、曲げ耐力が低下する可能性がある。

■維持管理上の留意事項

・ 海岸付近

➢ 塩害による損傷

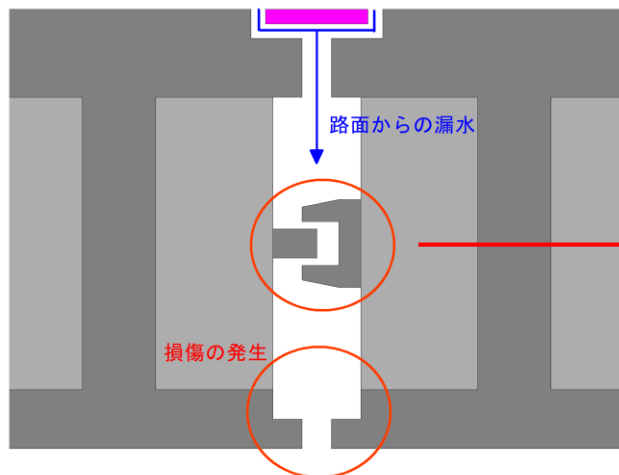
・ 有ヒンジ（第6径間、第7径間）

➢ クリープ現象による中央ヒンジ部の垂下り

➢ 漏水による損傷

【中央ヒンジ部漏水による損傷イメージ】

伸縮装置



ヒンジ部の発錆



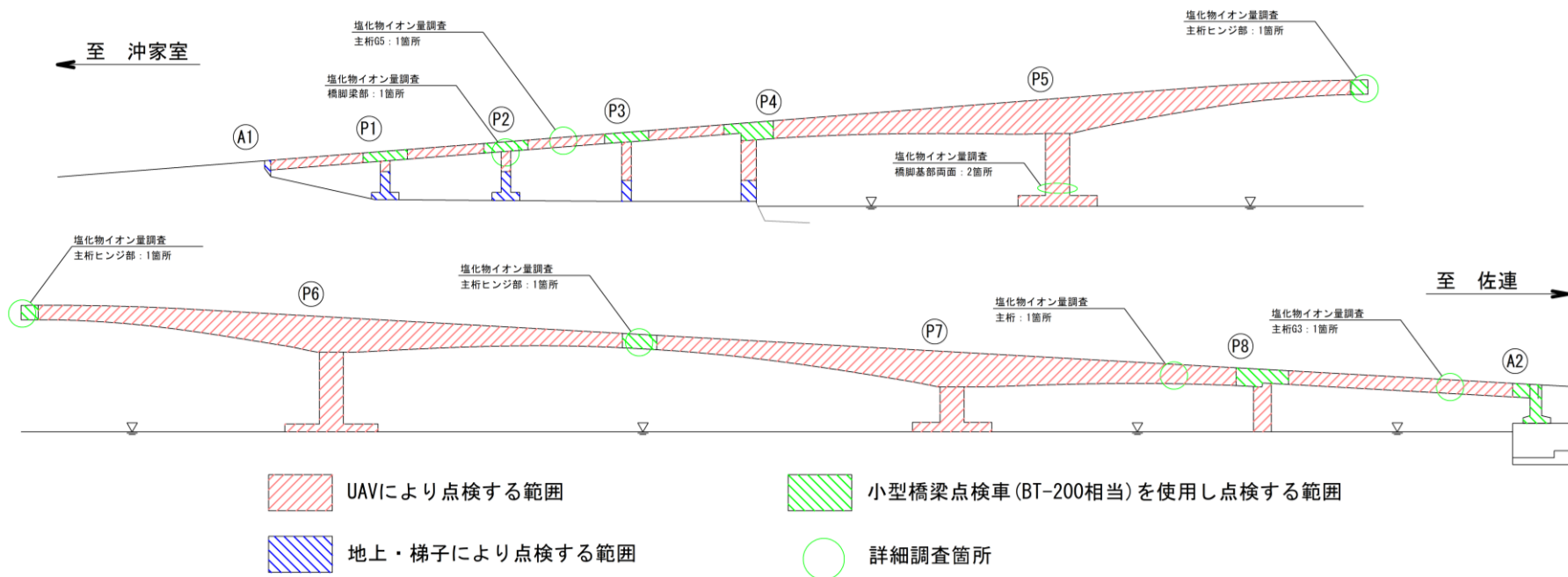
■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施
 - ※地震時など緊急時については、適宜実施
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積

■調査計画

- ・ コンクリート部材について15年に1回の頻度で塩化物イオン量を調査
- ・ ヒンジ部を有する第5径間～第8径間について5年に1回の頻度で縦断方向の変位量計測

■点検・調査方法



●ドローン
による
全体の点検

●左記を基本とするが、下記箇所は直接、視認等により点検を実施する

- 容易に近接目視が可能な箇所
- 橋座部
- ドローンにより視認できない箇所
- 損傷の程度等により近接目視が必要と判断される箇所

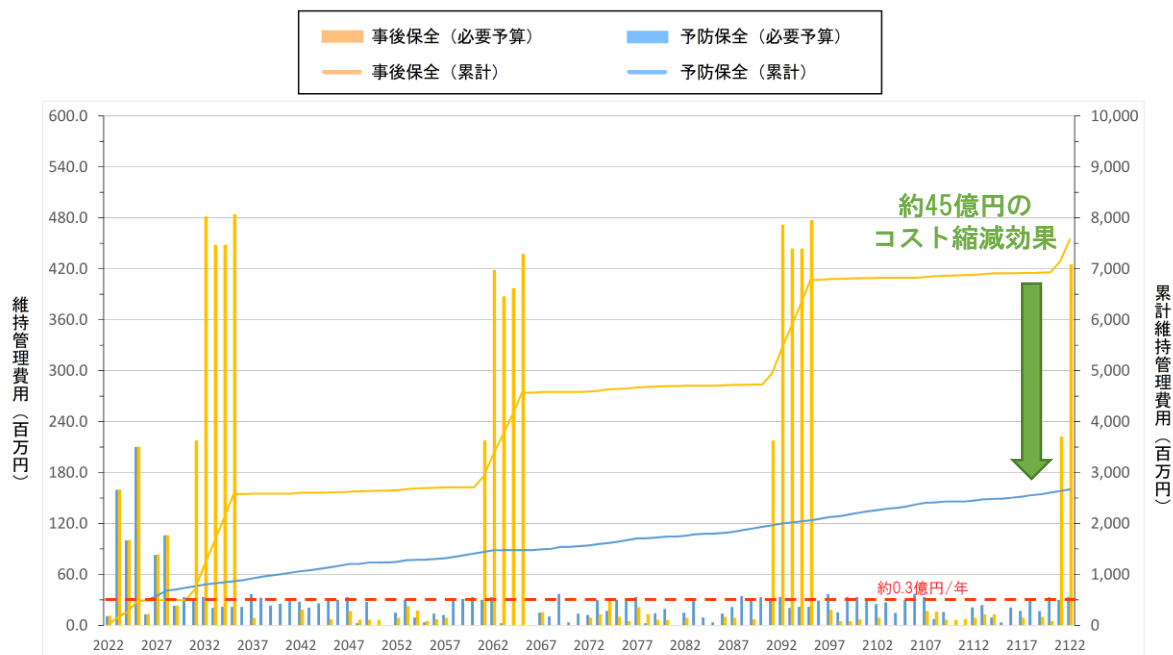
■補修方針

- 2028年までに補修・補強を完了
- 2029年から予防保全型の維持管理を実施

年度	区間 部材	橋脚・区間																		定期 点検	詳細 調査	定期 計画							
		A1 橋台	1径間	P1 橋脚	2径間	P2 橋脚	3径間	P3 橋脚	4径間	P4 橋脚	5径間	P5橋脚	6-1径間	ヒンジ	6-2径間	P6橋脚	7-1径間	ヒンジ	7-2径間				P7橋脚	8径間	P8橋脚	9径間	A2 橋台		
2022	下部工										補強工				補強工				補強工							○		○	
2023	基礎										表面保護工				表面保護工 ライニング工				表面保護工										
2024	下部工									補強工																			
2025	下部工																												
2026	下部工																												
2027	上部工		表面保護工																										
	下部工		落橋防止設置		落橋防止設置		落橋防止設置		落橋防止設置		落橋防止設置																		
	支承		補強工		補強工		補強工		補強工		補強工																		
2028	上部工		表面保護工		表面保護工		表面保護工		表面保護工		補強工		補強工		補強工		補強工		補強工		補強工								
2029	伸縮		交換		交換		交換		交換				交換				交換				交換				交換				
	舗装		部分打換え		部分打換え		部分打換え		部分打換え		部分打換え				部分打換え		部分打換え		部分打換え		部分打換え		部分打換え						
2030	上部工														表面保護工		表面保護工												
2031	支承														塗装工		塗装工		塗装工		塗装工								
2032	上部工										表面保護工		表面保護工		表面保護工							表面保護工					○		○
2033	下部工																												
	高欄																									交換			
2121	上部工										表面保護工		表面保護工																

※点検・調査結果や予算状況により変更の可能性がある

■ 予算



- 予算の平準化
- 100年間で維持管理費約45億円の縮減効果

■ 安全

- 架橋環境（塩害地域）、構造特性に応じた確実な点検、調査

- 異状箇所の早期発見